

令和3年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第2学年1組

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○自分の考えを進んで発表できる児童がいる一方、発表することが苦手な児童もいる。</p> <p>○コミュニケーションの素地となる自分の考えをもつ、伝える力に差がみられる。</p> <p>○聞く力はおおむね力がついてきているが、最後まで聞くことがむずかしい児童もみられる。</p> <p>○身の回りの出来事や自分の気持ちを文章に書けるようになってきた。しかし、促音や拗音や助詞の使い方、順序に沿って書くことに課題がある児童がいる。</p> <p>○学習した漢字を習得できるように練習を重ねているが、正しく書いたり、文の中で使えたりすることには、まだ課題がある。</p>	<p>○自分の考えを進んで表現しようとする態度を育てる。</p> <p>○コミュニケーション力を育てる。</p> <p>○最後まで聞く力を育てる。</p> <p>○促音や拗音や助詞を正しく使い、事柄の順序に沿って書くことができるようにする。</p> <p>○漢字の読み書きが確実にでき文や文章の中で使うことができるようにする。</p>	<p>○帰りの会で順番にスピーチをさせる。自分の考えをノートにまとめてから発表させる。ペアやグループで発表練習をしてから、全体で発表させる。</p> <p>○まずは1対1で相手の意見をうなずいて最後まで聞く等、肯定的に受け止める指導を行う。また、話し手は言いたいことを中心に話ができるよう指導する。</p> <p>○指示を出すとき、聞いてほしいときは、教師に注目させるような言葉かけをする。途中で話が入った場合は、待つ姿勢をつくるようにする。</p> <p>○授業で文章を書かせるときには、メモ構想、下書き、清書と段階を踏ませる。自分で推敲し、順序が分かる文章が書けるようにする。</p> <p>○漢字を定着させるために、毎日宿題を出し、単元ごとにテストを行う。筆順や、とめ・はね・はらいなどを指導し、意識させる。学</p>		

	<p>○文字の読み書きの基礎である、ひらがな・カタカナを正しく書けている児童が大半ではあるが、カタカナの間違いがある児童が見られる。</p>	<p>○ひらがな・カタカナを正確に書けるようにする。</p>	<p>期末には学期で習った漢字を復習させる。</p> <p>○意識して、ひらがなやカタカナを書く時間をとり、習得させるようにする。</p>		
算数	<p>○算数に対する興味をもち、自分から進んで問題に取り組む児童が多い。</p> <p>○文章問題の立式の際に、たし算かひき算にするのかで間違える児童が数名いる。</p> <p>○何分前や何分後などの時刻と時間の概念の定着が不十分な児童が数名いる。</p> <p>○繰り上がりのあるたし算・繰り下がりのあるひき算では、単元終了時は正確に解けていたが、期末では、間違える児童が数名いた。</p> <p>○単位を変換する問題を苦手とする児童が数名いる。</p>	<p>○学習に進んで取り組む態度を育てる。</p> <p>○文章問題の立式を正確にできるようにする。</p> <p>○時刻と時間の意味を理解し、計算を正しくできるようにする。</p> <p>○筆算の仕方を理解し、正しく計算できるようにする。</p> <p>○単位の関係性を正しく理解し、単位の変換をできるようにする。</p>	<p>○児童が興味をもつことができる導入、学習活動を取り入れたり、視覚的に分かりやすいものを掲示したりする。</p> <p>○演算決定の理由を問い、立式の仕方を理解させる。問題場面を図へと抽象化し、絵や図で表すことで問題の表す意味を理解させる。</p> <p>○日常生活の中で時刻や時間を考えられるよう、意識的に時計を活用する。</p> <p>○筆算のポイントを毎時間確認することで定着を図る。1年生で学習した繰り上がり、繰り下がりの復習を授業の最初に行う。</p> <p>○単位を変換する問題を多く取り入れる。</p>		
生活	<p>○これまでの知見で知っていることも、実際に体験してみると知らなかったことや、新しく気づく</p>	<p>○生活科の学習全般において自分で実際に体験してみ、気づいた経験、また気づきをもとに思考</p>	<p>○自分の考えを表現できる方法を具体的に提示し、自分自身でできた経験を積み重ねる。</p>		

	<p>喜びを得られる児童がみられる。</p> <p>○自分の育てている野菜に愛着をもち、水やりをきちんと行っている。</p> <p>○野菜の観察では、細かいところまで描写したり、気付いたことを言葉や絵で表現したりすることができる児童が多い。</p> <p>○自分たちの住む地域について、知っている子、知らない子の差がある。</p>	<p>を深める経験をさせ、その経験を様々な方法で表現できる。</p> <p>○探検や観察などの活動を通して、多くのことに気付くことができるようにする。また、気付きの質を高める。</p> <p>○気付いたことや感じたことを詳しく書けるようにする。気付いたことを絵の中に、短い文で書き込めるようにする。</p> <p>○体験活動を通して、自分と身近な公共施設を中心として、自分の住んでいる町の興味・関心を広げる。</p>	<p>○見つけたもの、気付いたことを発表し合う活動を取り入れ、互いの気付きを深め合える機会を設ける。</p> <p>○観察の視点を提示できるカードを作成し、観察させるようにする。</p> <p>○タブレットを活用し、以前のものと比較して似たところや違うところに気付かせる。</p> <p>○自分達の住んでいる地域の興味・関心を広げ、自分の町に愛着をもてるようになる。</p>		
<p>体育</p>	<p>○大半の児童に進んで運動しようという態度が感じられる。よりよく運動できるよう考え工夫すること、協調性をもつことが課題である。</p>	<p>○学習のめあてをもち、そのめあてを達成するための工夫を考えることができるようにする。友達と仲良く協力して運動することの楽しさを実感できるようにする。</p>	<p>○順番やきまりを守って協力して仲よく運動したり、勝敗を競ったりするなどの態度を毎時間の中で育てるようにする。</p>		